

# 琉球大学学術リポジトリ

## 東南アジア民族舞踊の印象空間 (1)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学教育学部 公開日: 2014-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 金城, 光子, 大城, 宜武, Kinjo, Mitsuko, Oshiro, Yoshitake メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/29936">http://hdl.handle.net/20.500.12000/29936</a>

# 東南アジア民族舞踊の印象空間；I

金城光子 大城宜武

## On the Dimension of the Impressions of the South Eastern Folk Dance

Mitsuko KINJŌ\* Yoshitake ŌSHIRO\*\*

(Received 20, Aug. 1984)

### Summary

The purpose of this paper is to determine the dimension of the impressions of the South Eastern folk dance by the factor analytic techniques.

Seventeen folk dance, which contained Japanese, Okinawa, Korea, Thai, and India, were presented to the 19 students who were attending the "dance" course in the University of the Ryukyus. The students were asked to rate their impressions of the dance on the 30-items Dance Appreciation Scales. The inter-correlation between scales were factor analyzed by the principal component method. The factor loading matrix was rotated by orthogonal and oblique method.

Main results were as follows;

- 1) The three interpretable oblique factors were extracted from the data. These factors were named as "Dynamism", "Evaluation", and "Delicacy".
- 2) The three dimensional structure of impressions of South Eastern folk dance was proposed.
- 3) There was significant negative correlation between Dynamism and Evaluation. The correlation coefficient was  $-0.75$ .
- 4) The most of Japanese dance were favorably evaluated, and were felt more delicate and moderately dynamic.

### はじめに

舞踊作品は、どのような構造枠組みによって認知されるであろうか。この課題へのアプローチは、通常、意味微分法と因子分析法をもってなされている。金城・大城(1972a)は、40尺度をもって、

日本、沖縄、イギリス、ドイツ、アメリカ、韓国の20個の舞踊作品を分析しており、作品個々についての因子分析が施されている。金城・大城(1972b)は、先述と同じ尺度・作品について、20作品を一括した因子分析により、5因子を抽出している。そのうち最初の固有値の大きい3因子は、それぞれ、評価性、躍動性、明瞭性と命名されている。金城(1973a)は、先の研究と同一尺度を用い、新たに、20作品個々の因子分析的研究を試みた。これと同じ資料について、金城(1973b)は、全作品を一括した因子分

\*Dept. of Physic. Educ., Coll. of Educ.,  
Univ. of Ryukyus.

\*\*General Educ., Okinawa Christian  
Junior Coll.

析により、5因子を抽出している。それらは、Evaluation, Dynamics, Clarity, ユニーク性、新奇性と命名されている。作品、被験者の違いにより、因子の構造に微妙な変異はあるものの、舞踊作品の認知枠は、評価性、躍動性、明瞭性の三次元的に構成されているらしいことが示唆される。

金城(1975)は、琉球舞踊17作品について、50尺度よりなる舞踊鑑賞のチェックリストを用いて、評価性、躍動性、力量性、優美性、独自性の5因子を抽出している。また、金城(1976)は、同じ50尺度を用いて、新たに琉球舞踊14作品を刺激材料として因子分析的研究を試みている。5因子まで抽出しているが、最初の3因子が5%以上の全分散比を有している。これらの因子は、評価性、力動性、独自性、と命名されている。

以上、尺度、作品、被験者が異なるにもかかわらず、共通して、評価因子、力動(又は躍動)因子は、同定できそうである。つまり、舞踊作品は、2次元的な認知枠組で受容・鑑賞されるものと推定される。そして、作品によって、第3以下の因子が動員されるという図式を描くことができる。

本研究の目的は、東南アジア地域の民族舞踊が、①どのような印象枠組みをもっているか、そして、②個々の作品は、このような枠組みの中で、どのように位置づけられるか、を検討することである。

## 方法

1. 舞踊作品：刺激材料として使用した東南アジア地域の民族舞踊作品は、附表1に掲げるような17個である。
2. 評定尺度：舞踊作品の印象評定には、金城・大城(1972b, P,54)で提案された30項目の尺度が用いられた(附表2を参照)。この尺度によると、評価性、躍動性、明瞭性の因子が抽出されている。
3. 被験者：実験に参加したのは、琉球大学教育学部保健体育専攻の学生で、「舞踊」コース受講生男女19人である。
4. 実験の実施：実験は1982年4月～6月に渡って実施された。
5. 手続き：実験は、「舞踊」クラスで1週1～2作品をVTRで提示し、提示直後に作品の印象評定を求めた。

6. データの処理：データは、30尺度について、17作品×19ケース=323オブザーベーションについて偏差積率相関を求め、これに対して、反復推定法によって、共通性を求め、主因子法により因子分析を施した。Varimax法による直交回転と、直接 Oblimin 法により斜交回転を施した。いずれの場合も、因子スコアを求め、因子毎、作品毎の平均値を算出し、作品の比較を試みた。

## 結果と考察

### 1. 民族舞踊の印象空間

民族舞踊の印象を構成する基準枠組み仮設のため、30項目よりなる各舞踊作品の評定値を用いて、尺度間相関を算出し、この相関行列について因子分析を施した。各因子の固有値の順位の変化を見たのが図1である。30尺度(変数)あるので理論的な因子数は30個想定されるが、このデータの分析では、11因子が抽出されている。

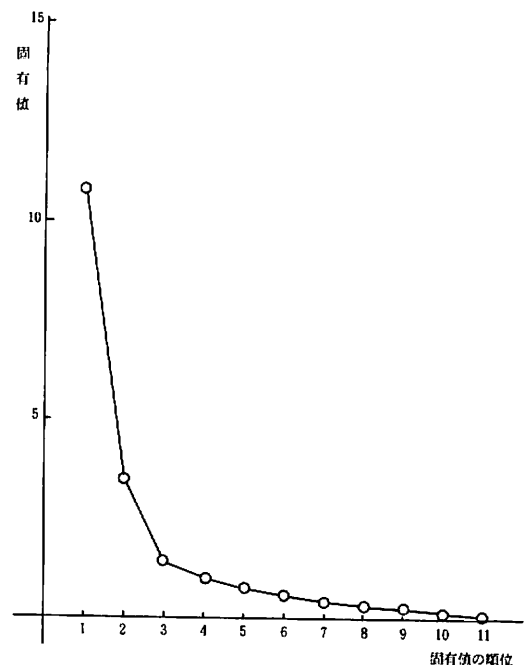


図1 固有値の変化

図1によると、因子1から因子2、および因子2から因子3へと固有値が激減しているが、3因

子以降の固有値の減少は、ゆるやかである。このことから、有効因子が2ないし3個程度であることが推測される。(cf, 芝 1972, PP.184~186)。さらに、最初の4因子が固有値1.00以上、全分散比5%以上の因子となっている。そこで、まず、軸の回転は、最初の4因子について実行してみた。Varimax法による直交回転後の因子負荷行列を表1に掲げた。Varimax回転は、因子パターンの各列の単純化をめざす。ここでは、因子解釈をたや

すくする目的で、因子抽出順に負荷量の高い変数(尺度)についてSortして示してある(以下同じ要領である)。

表2は、因子パターンの各行の単純化を企むために、Quartimax法による回転の結果、そして表3には、行と列同時の単純化を企むために、Equimax法による回転の結果を掲げた。表4、表5は、斜交回転の結果を示している。

表1 因子負荷行列 (Varimax 回転後)

変数	F 1	F 2	F 3	F 4
B (18) 鮮やかな	0.768435	0.330379	0.0	0.0
B (28) はなやかな	0.760898	0.315192	0.0	0.0
B (12) 明るい	0.743468	0.0	0.0	0.255005
B (11) さわやかな	0.681407	0.0	0.0	0.0
B (29) 視覚的な	0.651003	0.302072	0.0	0.0
B (22) 新しい	0.645332	0.0	0.0	0.0
B (6) 現代的な	0.615174	0.0	0.0	0.0
B (21) はげしい	0.605874	0.300371	0.0	0.518035
B (30) 明確な	0.596099	0.0	0.0	0.264877
B (7) 動的な	0.594625	0.280142	-0.281911	0.378265
B (26) すっきりした	0.554402	0.0	0.0	0.315948
B (4) 見応えがある	0.335007	0.795943	0.0	0.0
B (2) 魅力がある	0.335144	0.770002	0.0	0.0
B (15) 興味深い	0.343013	0.761875	0.0	0.0
B (13) 満足できる	0.404588	0.670000	0.0	0.0
B (1) よい	0.286228	0.630896	0.0	0.0
B (19) 印象深い	0.441134	0.615497	0.0	0.0
B (5) すぐれている	0.0	0.574790	0.378578	0.0
B (3) うまい	0.0	0.566727	0.440369	0.0
B (20) おもしろい	0.494874	0.551316	0.0	0.284972
B (9) 叙情的な	0.0	0.0	0.613507	-0.346032
B (14) 緻密な	0.0	0.255278	0.611289	0.0
B (27) まとまった	0.0	0.0	0.570285	0.0
B (8) 日本的な	-0.314051	0.0	0.561918	0.0
B (23) 正統的な	0.0	0.0	0.546722	0.0
B (24) 力強い	0.314724	0.0	0.0	0.714807
B (16) 美しい	0.347432	0.327835	0.417693	-0.482284
B (25) 劇的な	0.447495	0.0	0.0	0.357202
B (10) 素直な	0.0	0.0	0.489089	0.0
B (17) 効果的な	0.456503	0.405187	0.281154	0.0
V P	6.665174	5.217402	3.038258	1.998977

表2 因子負荷行列 (Quartimax 回転後)

変数	F 1	F 2	F 3	F 4
B ( 4) 見応えがある	0.785145	0.266982	0.279398	0.0
B ( 2) 魅力がある	0.758152	0.346559	0.0	0.0
B (15) 興味深い	0.751077	0.261231	0.307876	0.0
B (13) 満足できる	0.653537	0.313569	0.338976	0.0
B ( 1) よい	0.616064	0.270976	0.0	0.0
B (19) 印象深い	0.600070	0.346160	0.348781	0.0
B ( 5) すぐれている	0.561347	0.0	0.0	0.387780
B ( 3) うまい	0.556480	0.0	0.0	0.451620
B (20) おもしろい	0.540098	0.343484	0.469837	0.0
B (18) 鮮やかな	0.304980	0.749255	0.0	0.0
B (28) はなやかな	0.290486	0.723018	0.273082	0.0
B (29) 視覚的な	0.279082	0.645208	0.0	0.0
B (12) 明るい	0.0	0.572671	0.548083	0.0
B (11) さわやかな	0.0	0.545631	0.459849	0.0
B ( 6) 現代的な	0.0	0.528234	0.330010	0.0
B (16) 美しい	0.307982	0.528223	-0.276800	0.429836
B (22) 新しい	0.0	0.510096	0.439927	0.0
B (24) 力強い	0.0	0.0	0.783514	0.0
B (21) はげしい	0.285136	0.339048	0.724249	0.0
B ( 7) 動的な	0.266921	0.386969	0.591097	-0.290223
B (26) すっきりした	0.0	0.374669	0.527489	0.0
B (25) 劇的な	0.0	0.261841	0.518004	0.0
B ( 9) 叙情的な	0.0	0.0	-0.362295	0.620550
B (14) 緻密な	0.0	0.0	0.0	0.619049
B (27) まとまった	0.0	0.0	0.0	0.567128
B ( 8) 日本的な	0.0	0.0	0.0	0.563517
B (23) 正統的な	0.0	0.0	0.0	0.551633
B (10) 素直な	0.0	0.0	0.0	0.485117
B (17) 効果的な	0.384077	0.431551	0.0	0.284667
B (30) 明確な	0.0	0.436148	0.499883	0.0
VP	4.907296	4.579952	4.336428	3.096136

表3 因子負荷行列 (Equimax 回転後)

変数	F 1	F 2	F 3	F 4
B (12) 明るい	0.791809	0.0	0.0	0.0
B (21) はげしい	0.786283	0.0	0.0	-0.310920
B (18) 鮮やかな	0.776760	0.0	0.0	0.318288
B (28) はなやかな	0.774871	0.0	0.0	0.273160
B (20) おもしろい	0.750534	0.0	0.266043	0.0
B (7) 動的な	0.730803	-0.297790	0.0	0.0
B (11) さわやかな	0.711412	0.0	0.0	0.0
B (19) 印象深い	0.705942	0.0	0.313458	0.0
B (13) 満足できる	0.701826	0.0	0.363366	0.0
B (4) 見応えがある	0.693984	0.0	0.530697	0.0
B (15) 興味深い	0.692056	0.0	0.497469	0.0
B (30) 明確な	0.683253	0.0	0.0	0.0
B (22) 新しい	0.673986	0.0	0.0	0.0
B (29) 視覚的な	0.662704	0.0	0.0	0.290165
B (2) 魅力がある	0.632618	0.0	0.510327	0.0
B (6) 現代的な	0.628261	0.0	0.0	0.0
B (26) すっきりした	0.624489	0.0	0.0	0.0
B (25) 劇的な	0.575282	0.0	0.0	0.0
B (17) 効果的な	0.572943	0.305168	0.0	0.0
B (24) 力強い	0.557254	0.0	0.0	-0.590009
B (1) よい	0.543443	0.295995	0.378069	0.0
B (14) 緻密な	0.0	0.645394	0.0	0.0
B (9) 叙情的な	0.0	0.626603	0.0	0.263414
B (23) 正統的な	0.0	0.571359	0.0	0.0
B (27) まとまった	0.0	0.557543	0.0	0.0
B (8) 日本的な	-0.394379	0.553558	0.0	0.0
B (3) うまい	0.276570	0.508913	0.426369	0.0
B (16) 美しい	0.323045	0.461853	0.0	0.556548
B (5) すぐれている	0.408199	0.438718	0.373866	0.0
B (10) 素直な	0.0	0.464965	0.0	0.0
VP	10.467675	3.306857	1.829634	1.315646

表4 因子負荷行列 (Quartimin 回転後)

変数	F 1	F 2	F 3	F 4
B (18) 鮮やかな	0.798224	0.0	0.0	0.0
B (28) はなやかな	0.778902	0.0	0.0	0.0
B (12) 明るい	0.685818	0.0	0.0	0.0
B (29) 視覚的な	0.677847	0.0	0.0	0.0
B (11) さわやかな	0.647490	0.0	0.0	0.0
B (22) 新しい	0.606448	0.0	0.0	0.0
B (6) 現代的な	0.603759	0.0	0.0	0.0
B (30) 明確な	0.510123	0.0	0.257702	0.0
B (4) 見応えがある	0.0	0.830746	0.0	0.0
B (2) 魅力がある	0.0	0.791801	0.0	0.0
B (15) 興味深い	0.0	0.790122	0.0	0.0
B (13) 満足できる	0.0	0.661663	0.0	0.0
B (3) うまい	0.0	0.656499	0.319772	0.0
B (1) よい	0.0	0.643427	0.0	0.0
B (5) すぐれている	0.0	0.624683	0.266342	0.0
B (19) 印象深い	0.0	0.589129	0.0	0.0
B (20) おもしろい	0.285043	0.508352	-0.288336	0.0
B (27) まとまった	0.0	0.0	0.585858	0.0
B (8) 日本的な	0.0	0.0	0.572324	0.0
B (9) 叙情的な	0.0	0.0	0.550729	-0.374935
B (14) 緻密な	0.0	0.285303	0.528032	0.0
B (10) 素直な	0.262504	0.0	0.507134	0.0
B (24) 力強い	0.0	0.0	0.0	0.742545
B (21) はげしい	0.409606	0.0	0.0	0.521559
B (16) 美しい	0.457993	0.0	0.255610	-0.563402
B (7) 動的な	0.450270	0.0	0.0	0.374254
B (25) 劇的な	0.313924	0.0	0.0	0.353279
B (26) すっきりした	0.470273	0.0	0.286855	0.310864
B (17) 効果的な	0.395225	0.327872	0.0	0.0
B (23) 正統的な	0.0	0.250855	0.498359	0.0
VP	5.081832	4.773780	2.607703	2.078058

表5 因子負荷行列 (Biquartimin 回転後)

変数	F 1	F 2	F 3	F 4
B (12) 明るい	0.873734	0.0	0.0	0.0
B (18) 鮮やかな	0.868983	0.0	0.0	-0.288704
B (28) はなやかな	0.861284	0.0	0.0	0.0
B (11) さわやかな	0.817899	0.0	0.0	0.0
B (22) 新しい	0.743467	0.0	0.0	0.0
B (29) 視覚的な	0.730115	0.0	0.0	-0.269159
B (6) 現代的な	0.701117	0.0	-0.254506	0.0
B (30) 明確な	0.666798	0.0	0.0	0.0
B (26) すっきりした	0.655907	0.0	0.0	0.0
B (7) 動的な	0.571217	0.0	-0.338262	0.0
B (21) はげしい	0.562767	0.0	-0.283990	0.373005
B (4) 見応えがある	0.0	0.975718	-0.295236	0.0
B (15) 興味深い	0.0	0.924149	-0.294310	0.0
B (2) 魅力がある	0.0	0.917458	0.0	0.0
B (3) うまい	-0.369951	0.818504	0.0	0.0
B (5) すぐれている	0.0	0.747952	0.0	0.0
B (13) 満足できる	0.0	0.742757	0.0	0.0
B (1) よい	0.0	0.737789	0.0	0.0
B (19) 印象深い	0.0	0.645880	0.0	0.0
B (20) おもしろい	0.261965	0.544739	-0.398710	0.0
B (9) 叙情的な	0.0	0.0	0.628847	-0.309418
B (8) 日本的な	0.0	0.0	0.618271	0.0
B (27) まとまった	0.0	0.0	0.556239	0.0
B (14) 緻密な	0.0	0.339417	0.523073	0.0
B (10) 素直な	0.379471	0.0	0.521581	0.0
B (24) 力強い	0.0	0.0	0.0	0.640356
B (16) 美しい	0.360530	0.0	0.332914	-0.584434
B (25) 劇的な	0.444371	0.0	0.0	0.252860
B (17) 効果的な	0.392747	0.298125	0.0	0.0
B (23) 正統的な	0.0	0.314449	0.470807	0.0
VP	7.133159	6.226831	2.936100	1.510447



表6 因子負荷行列 (Varimax 回転後)

変数	F 1	F 2	F 3	h <sup>2</sup>
B (1) よい	0.293180	0.611873	0.269024	0.533
B (2) 魅力がある	0.332591	0.737230	0.109966	0.666
B (3) うまい	0.018273	0.561225	0.413073	0.486
B (4) 見応えがある	0.386791	0.786215	-0.005746	0.768
B (5) すぐれている	0.163371	0.566801	0.365913	0.482
B (6) 現代的な	0.623387	0.162511	-0.168632	0.443
B (7) 動的な	0.698476	0.271367	-0.300106	0.652
B (8) 日本的な	-0.360390	-0.199072	0.530396	0.451
B (9) 叙情的な	-0.260275	-0.069718	0.669107	0.520
B (10) 素直な	0.217226	-0.030803	0.488273	0.287
B (11) さわやかな	0.714069	0.157204	0.157914	0.600
B (12) 明るい	0.796868	0.180632	0.061589	0.671
B (13) 満足できる	0.454915	0.657570	0.136834	0.658
B (14) 緻密な	-0.059819	0.247279	0.621128	0.451
B (15) 興味深い	0.402214	0.753822	-0.025523	0.731
B (16) 美しい	0.183114	0.277577	0.550262	0.413
B (17) 効果的な	0.435447	0.380449	0.335493	0.447
B (18) 鮮やかな	0.699550	0.290184	0.167954	0.602
B (19) 印象深い	0.489659	0.602176	0.050818	0.605
B (20) おもしろい	0.581800	0.542846	-0.231610	0.687
B (21) はげしい	0.744037	0.299773	-0.276013	0.720
B (22) 新しい	0.685658	0.150401	-0.181366	0.526
B (23) 正統的な	-0.069552	0.208835	0.510605	0.309
B (24) 力強い	0.500422	0.249365	-0.167889	0.341
B (25) 劇的な	0.532287	0.223076	0.058498	0.337
B (26) すっきりした	0.618221	0.149201	0.204881	0.446
B (27) まとまった	0.179043	0.098270	0.507710	0.299
B (28) はなやかな	0.708093	0.277968	0.133145	0.596
B (29) 視覚的な	0.586418	0.267109	0.210179	0.459
B (30) 明確な	0.646647	0.221956	0.225199	0.518
VP	7.542457	4.898023	3.222406	

表7 因子負荷行列 (Biquartimin 回転後)

変数	F 1	F 2	F 3	h <sup>2</sup>
B ( 1 ) よ い	-0.026974	0.733947	0.068236	0.544
B ( 2 ) 魅力がある	-0.106223	0.908910	-0.133390	0.855
B ( 3 ) う ま い	-0.324478	0.800178	0.231210	0.799
B ( 4 ) 見応えがある	-0.096774	0.959348	-0.266290	1.000
B ( 5 ) すぐれている	-0.144738	0.731923	0.181230	0.590
B ( 6 ) 現代的な	0.671447	-0.089012	-0.226106	0.510
B ( 7 ) 動的な	0.658764	0.040122	-0.394679	0.591
B ( 8 ) 日本的な	-0.213037	-0.131944	0.601304	0.424
B ( 9 ) 叙情的な	-0.150084	-0.002749	0.697979	0.510
B (10) 素直な	0.419863	-0.195154	0.500917	0.465
B (11) さわやかな	0.867229	-0.166844	0.104106	0.791
B (12) 明るい	0.939069	-0.171336	-0.000986	0.911
B (13) 満足できる	0.125448	0.721601	-0.080657	0.543
B (14) 緻密な	-0.139352	0.362507	0.544426	0.447
B (15) 興味深い	-0.055114	0.903884	-0.275615	0.896
B (16) 美しい	0.146970	0.278946	0.461998	0.313
B (17) 効果的な	0.358303	0.307241	0.210714	0.267
B (18) 鮮やかな	0.746217	0.038529	0.070513	0.563
B (19) 印象深い	0.196665	0.625408	-0.149209	0.452
B (20) おもしろい	0.305533	0.504092	-0.414530	0.519
B (21) はげしい	0.702778	0.055975	-0.379969	0.641
B (22) 新しい	0.761513	-0.140369	-0.235223	0.655
B (23) 正統的な	-0.146168	0.317440	0.445813	0.321
B (24) 力強い	0.439246	0.107650	-0.253396	0.269
B (25) 劇的な	0.551112	0.037002	-0.016886	0.305
B (26) すっきりした	0.755270	-0.129171	0.154470	0.611
B (27) まとまった	0.272242	0.016781	0.478180	0.303
B (28) はなやかな	0.759694	0.017815	0.039439	0.579
B (29) 視覚的な	0.621858	0.063518	0.121139	0.405
B (30) 明確な	0.740937	-0.037651	0.150858	0.573
VP	7.536798	6.030729	3.087294	

4 因子について 5 種の方法で回転した後の因子について検討する。

(1) Varimax 法による分析

因子パターンの列間の単純化を実現しようとしたが、表1に見るように、躍動性ないし華やかさを表わすと思われる F 1 (因子1) と評価性を表

わしていると思われる F 2 が明瞭には分離していないようである。F 3 は、かなり一義性のある因子となっている。作品の完成度とも呼べる因子である。F 4 は、力動性の様相を呈しているが、F 1 からの分離があいまいであり、独立性に乏しいようである。

## (2) Quartimax 法による分析

F 1 は評価的色彩の強い因子である。F 2 は、「鮮やかさ」を基調としているが F 3 と同時に同等の負荷をもつ変数が多く独立性に欠ける。F 3 は、F 2 との重複と同時に、力動性として解釈できる。結局、F 2 と F 3 は、華やかさの二つの側面を実現しているようである。F 4 は、Varimax 法の分析で見た F 3 と同一性格のものであろう。作品の「緻密さ」などの完成度の因子であらう。

## (3) Equimax 法による分析

Equimax 回転は、因子パターンの行と列の同時的な単純構造化をめざしている。

因子負荷量の高い変数は、F 1 に殆んど集中し、華やかさ（躍動性）や力量性、そして評価のすべてが総合された因子である。

F 2 は、緻密さや正統性など作品の古典的性格や完成度を示しているようである。

F 3 は、評価的因子であり、F 4 は明確な解釈は難しい。F 3、F 4 いずれの因子も F 1 もしくは F 2 との重複的負荷が認められ、値もそれほど大きくなく、独立性に乏しい。このことから、固有値の変動で見た（図1参照）、2因子が有効因子であろうとする知見は、ここで実現されていると言えよう。

以上、3種の直交回転によって分析したのであるが、因子相互間で重複的負荷が著しく、単純構造の実現にはほど遠い。これは、因子相互に相関があるため、直交回転することによって、因子軸の設定に不自然さが現われたのではないかと疑われる。次に、斜交回転による分析を試みる。

## (4) Quartimin 法による分析

表4に掲げるように、この分析方法では明確な単純構造が得られているようである。ただし、F 4 は、力動性風の色を帯びながらも、F 1 と同時にほぼ同様な負荷をもつ変数で構成され独立性に欠ける。

F 1 は、鮮やかさや視覚的であり、躍動性因子とみなしうる。F 2 は、見応えがあり、魅力があり、興味深い、評価の因子である。F 3 は、まとまった、日本的な、など情緒性の因子であるよう

だ。直交回転の分析で見た完成度と関係がありそうな因子である。

## (5) Biquartimin 法による分析

この方法による回転もうまく因子パターンの単純構造化を実現しているようである。F 1 は、明るい、鮮やかな、華やかななどの華やかさ躍動性の因子である。F 2 は、見応えがある、興味深い、魅力がある、評価因子である。F 3 は、叙情的な、日本的な、緻密な、叙情性の因子である。F 4 は、力強いと美しくないが代表尺度であるが、統一的な解釈はむずかしく、また F 1 との重複負荷が多く独立性に欠ける。

以上、直交回転と斜交回転によって、因子パターンの単純構造化をめざしてきたが、直交よりは、斜交回転の方が、上の基準に沿った解釈ができるようである。

直交・斜交いずれの回転によっても第4因子目は、独立性に欠けるようである。また、Equimax 回転では、2因子で十分であることが示されているが、評価、力動、躍動性等が混然一体となり、すっきりしない。

そこで本研究では、民族舞踊の印象空間を仮設するためには、3因子程度で十分だろうと考えて、以下、3因子解について検討することにする。

## (6) 東南アジア民族舞踊の印象構造

表6に、Varimax 回転後の因子負荷行列を、表7に、Biquartimin 回転後の因子負荷行列を掲げた。

まず、直交回転後の結果について見ると、

F 1 を代表する尺度は、「明るい」「はげしい」「さわやか」「はなやか」「鮮やか」「動的な」「新しい」「明確な」「現代的な」など、明るい雰囲気、華やかで、鮮やかな躍動性の因子である、と解釈できる。

F 2 を代表する尺度は、「見応えがある」「興味深い」「魅力がある」「満足できる」「よい」「印象深い」など評価の因子である。しかしながらこれらの尺度は、F 1 とも中程度の因子負荷をしており、因子としての独立性に疑問が残る。

F 3 には、「叙情的な」「緻密な」「美しい」「日本的な」「正統的な」などの尺度が高い因子

負荷を示している。叙情性や様式美、または、作品の完成度の因子のようである。

以上のように、直交回転では、F 2 が、評価性を表わしつつも、F 1 との重複因子負荷をもつ尺度が多く単純構造化という目標にはほど遠いと言わなければならない。

次に、Biquartimin 法による回転後の因子負荷行列について検討してみよう。結論的に言えば、単純構造化を求めるといふ要諦からすれば、満足できる結果が得られている。

F 1 を代表する尺度は「明るい」「さわやかな」「新しい」「はなやかな」「すっきりした」「鮮やかな」「明確な」「はげしい」「現代的な」「動的な」「視覚的な」「劇的な」「力強い」などである。この因子は、金城・大城(1972b)、金城(1973b)、また、金城(1975)、金城(1976)の抽出した、力動性、躍動性、明瞭性、新奇性などの総合因子であり、ここでは、「躍動性」因子と命名しよう。全分散比は約36%である。

F 2 を代表する尺度は、「見応えがある」「魅力がある」「興味深い」「うまい」「よい」「すぐれている」「満足できる」「印象深い」等、明らかに評価をあらわすものである。「評価性」因子と命名しよう。全分散比は約29%である。

F 3 は、「叙情的な」「日本的な」「緻密な」「素直な」「まとまった」「美しい」「正統的な」などを代表尺度とする。舞踊作品それ自体の完成度とか、伝統的な様式性の因子、それ以上に負荷の高さからすると、この因子は、「叙情的」因子と命名される。ここでは、しかし「繊細性」因子と命名しよう。全分散比は約15%である。

斜交回転であるので因子間相関を求めると表8のように示される。

表8 斜交回転後の因子間相関

因子	F 1	F 2	F 3
F 1	1.00		
F 2	-0.75***	1.00	
F 3	-0.05	-0.18	1.00

\* $P < .001$

F 1 と F 2 間には  $r = -.75$  の相関がある。こ

れは、逆相関である。「躍動性」と「評価性」の間には逆相関があることになる。

## 2 東南アジア民族舞踊の空間布置

民族舞踊の印象構造を仮設すると、それは、「躍動性」「評価性」そして「繊細性」の3次元の枠組として設定できる。これら3者のうち、最初の2因子間にはマイナスの有意な相関があり、これら両者は独立なものではない。したがって、舞踊作品の布置を求めるためには、これら2者のうち1個あれば十分である。

ここでは、斜交回転後の因子に対して、ケース毎の因子スコアを求め、さらに、作品毎にその平均値を算出し、これによって、17個の舞踊作品の布置を検討する。

### (1) 「躍動性」×「評価性」における民族舞踊の布置

F 1 (躍動性) × F 2 (評価性) における舞踊作品の布置を見る(図2参照、斜交回転なので、軸は斜交させるべきであるが、見やすくするためにこの様に示した)。横軸(F 1)は、躍動性を示す。マイナス側は、躍動的で華やかで現代的であること、プラス側は、躍動的でなく、しっとりと落ちついた重厚さや、古典性を表わす。縦軸(F 2)は、評価の軸であり、マイナス側は、見応えがあり、興味深く、魅力的であると評価される側であり、プラス側はこの逆の意味を表わす。通常の場合と逆になっているのは、舞踊の「印象評定スケール」が、得点の低い方が、躍動的であり、よい、と評価されるように構成されているためである。

図2によると、第1象限と第III象限に含まれる作品は殆んどなく、第II、第IV象限に布置している。F 1 と F 2 には、有意なマイナスの相関があるため、躍動的でない作品ほど、高い評価を得、評価が低いほど躍動的であることが見てとれよう。

最も躍動的な作品は、インド舞踊の⑦「祭りの踊」であり、次いで、日本舞踊の③「菊」である。この二者は突出して躍動的であるとされている。⑦「祭りの踊」は、男女6人が手をつないだり、対応したりして、ステップ・ジャンプをくり返しながらかつと踊るにぎやかさがあり(附表1参照)

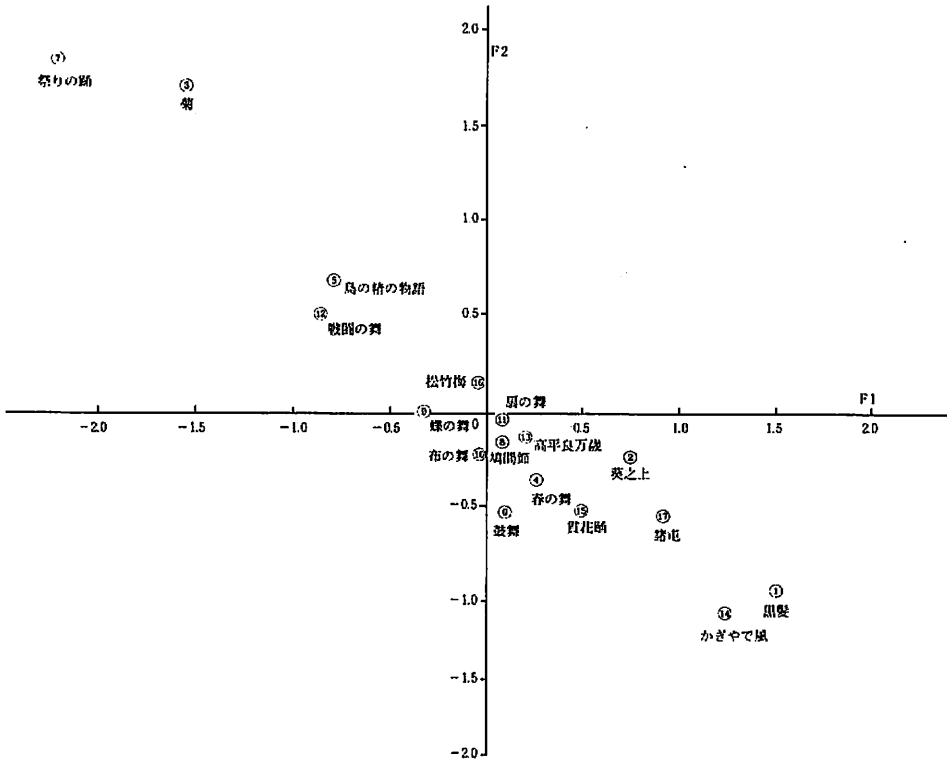


図2 F1 × F2における民族舞踊の布置

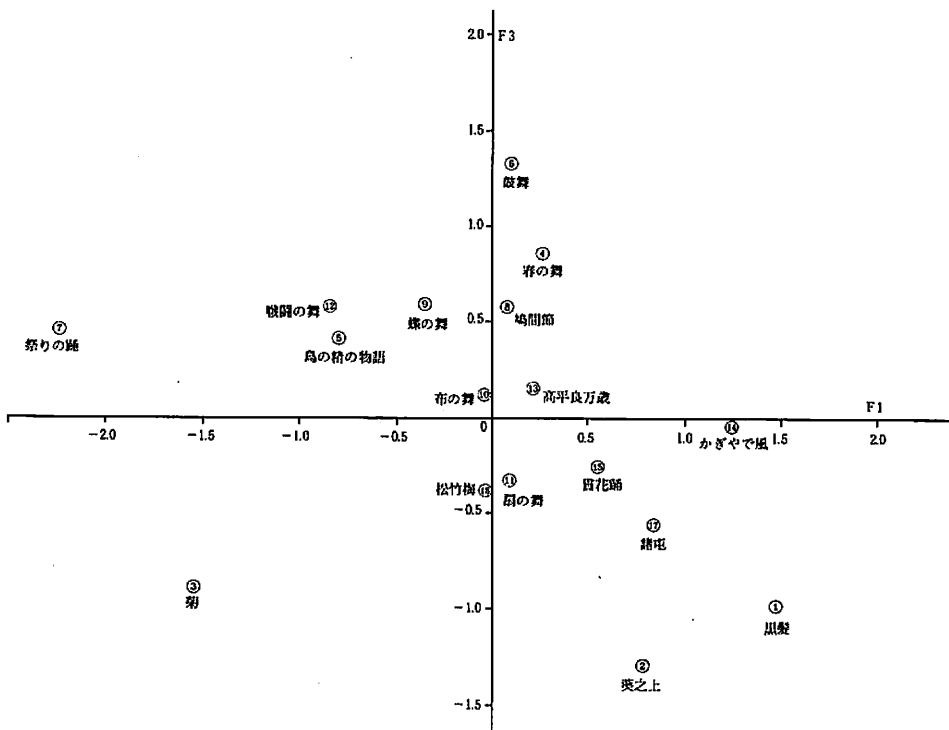


図3 F1 × F3における民族舞踊の布置

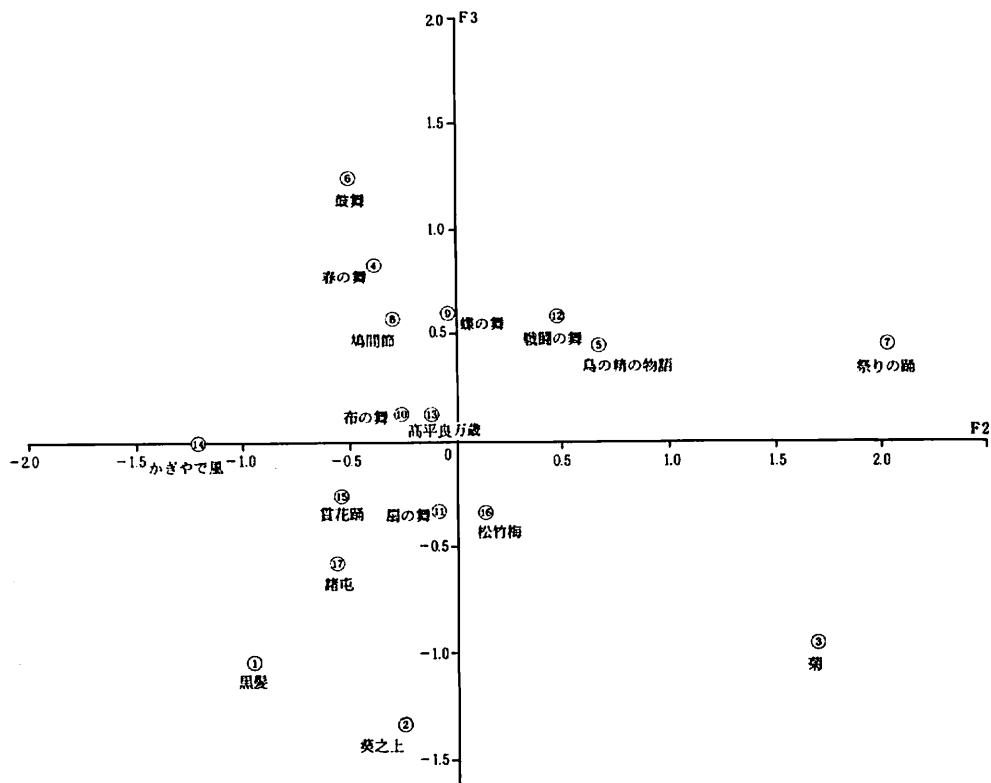


図4 F2 × F3における民族舞踊の布置

③「菊」は、日本舞踊の長唄で独舞であるが、菊の花の鮮やかな装束を背景に、かれんな娘からあでやかな女までを四部構成で綴ったもので、色彩といい、変身して場面を展開する毎に鮮やかな衣装やもちもの、かぶりものに変化をもたせている。音曲の組み合わせや、振りが速い動きであり、いわゆる②「黒髪」と対照的な動感がある。両者は、国や音楽、衣装、構成、演舞形式は異なるが、みた印象としての「躍動感」の程度の強さが示された結果とみられる。

逆に、非常に静的で暗くないし、重厚さをもつ作品は、日本舞踊の①「黒髪」であり、琉球舞踊の⑩「かぎやで風」である。「黒髪」は、上方舞いで、扇を片手に女心の熱き思いを表現するものであり、「かぎやで風」は、同じく扇を片手に、ゆっくりと子孫繁栄をことほぐ踊りである。第IV象限には、日本舞踊や琉球舞踊が主に布置している。⑰「諸屯」⑮「貫花踊」②「葵之上」⑥「鼓舞」④「春の舞」⑧「鳩間節」⑬「高平良万歳」⑭「扇の舞」これらはゆっくりと展開する流麗な

踊りである点で共通的な印象空間を呈していると思われる。但し⑥⑧⑬は力動感がある踊りである。

第二象限に布置しているのは、⑤「鳥の精の物語」⑫「戦鬨の舞」で両者はかなり接近している。⑯「松竹梅」も布置しており、三者は、群舞である。第三象限には、⑨「蝶の舞」と⑪「布の舞」が布置している。

華やかで明るく現代的であると認知された場合、その作品は高く評価されない傾向にある。このことは、民族舞踊の特性として新しさや鮮やかさよりも、はげしくなく、内向するようなものが求められることを示すのであろうか。日本人被験者が日本の作品を高く評価しているのは一種の身びいきなのであろうか。しかし、インド舞踊の「鼓舞」やタイ舞踊の「春の舞」がかなり評価をうけ、かつ、日本舞踊の「菊」が低い評価を受けているところを見れば、あながち身びいきの評価とも言えないであろう。やはり、評価と踊りの華やかさ、現代性とは相容れないものなのであろう。

## (2) 「躍動性」×「繊細性」における民族舞踊の布置

図3は、F1（躍動性）×F3（繊細性）における舞踊の布置を示す。F3のマイナス側には、日本・琉球舞踊が布置し、プラス側には、日本・琉球以外の作品が布置している。「繊細性」とは、結局「日本対他の東南アジア」の対立を示すものであるといえようか。あるいは、叙情的で、緻密であることは当然のことながら「日本的」な作品は日本的であるということになり、叙情的でも緻密でも、日本的でもない作品が、東南アジアの民族舞踊ということにならうか。してみると、「日本」から差異化される「琉球」的な作品が「日本的である」との印象をもたれるのは、他の東南アジア舞踊作品との相対的位置関係によって、相対的に日本化されたとすべきであらうか。そうすると、⑧「鳩節」や⑬「高平良万歳」の琉球舞踊が非日本的布置を占めるのは、これらの作品の特性を考える上でも興味深いものがあると言えよう。また、韓国舞踊である⑩「扇の舞」が、いわゆる日本の作品の中に布置し、これと隣接して琉球舞踊の⑯「松竹梅」が位置している。いずれも扇をもって踊ることが親近性をもたせたのであろうか。インド舞踊の⑦「祭りの踊」、そして日本舞踊の③「菊」が、他の諸作品とは遠く隔って布置し、作品の独自性を示している。タイ舞踊の⑤「鳥の精の物語」と韓国舞踊の⑫「戦闘の舞」は、踊りの内容としては異質であるが、両者とも舞踊劇または物語舞踊としての構成の共通性によって近接していると思われる。

F1（躍動性）×F3（繊細性）における舞踊作品の布置は、評価とは独立したまったくの舞踊特性を呈示していると思われるため、舞踊作品特性の比較検討のためには適切な空間である。

## (3) F2（評価性）×F3（繊細性）における民族舞踊の布置

図4は、F2（評価性）×F3（繊細性）における舞踊作品の布置を示す。F2のマイナス側は、高い評価、プラス側は低い評価、F3のマイナス側は、繊細さの高いこと、プラス側は低いことをあらわしている。第Ⅱ・第Ⅲ象限は、プラス評価

（しかもほぼ同等）の作品群の布置となっている。繊細さの高低と評価とは独立（無関係）であることが認められる。第Ⅰ象限には、インド舞踊の⑦「祭りの踊」、第Ⅳ象限では、日本舞踊の③「菊」が極端に低い評価で布置している。叙情性が異なり、演舞スタイル（「菊」は独舞、「祭りの踊」は群舞である）も異なるのに評価のみは共通によくはない布置を示している。この2作品は、評価の低さによって、他の作品から独立している。

## おわりに

本研究は、東南アジア民族舞踊が、どのような印象空間をもつか、仮設された印象空間に対してどのような位置を獲得しているのかをSD法と因子分析法によって検討したものである。

SD法による舞踊作品の印象評定により、尺度間相関行列を求め、これに対して主因子法により因子分析を施し、直交回転、斜交回転を施し、結局、次のような結果が得られた。

1. 舞踊作品の印象空間は、三次元的に構成される。
2. 直交回転よりも斜交回転による方法が、因子パターンの単純構造化が得られやすい。
3. 東南アジア民族舞踊の印象空間は、「躍動性」、「評価性」、「繊細性」の三因子で仮設せられる。
4. 「躍動性」と「評価性」はマイナスの相関関係にある。
5. 日本舞踊・琉球舞踊は、高く評価される傾向がある、そして、躍動的でないとは認知されている。
6. 日本舞踊・琉球舞踊は、繊細であるとされ、他の諸作品は、そうでないとされている。

以上が主な結果であるが、本研究では、日本舞踊（含・琉球舞踊）が全17作品中9作品を占め、これらの諸作品の影響が因子構造、したがって、印象空間の構造化に偏って出ている可能性も考えられる。また、被験者が日本人なので、被験者と作品の交互作用も懸念される。これらの点を改善したさらなる研究デザインが待たれるゆえである。

参考・引用文献

- 1 富士通(不詳)『ANALYST/ANALYZE』富士通
- 2 金城光子 「舞踊の鑑賞構造に関する研究〔I-2〕」 『琉球大学教育学部紀要』 第17集第2部 PP. 27~50 1973 a
- 3 金城光子 「舞踊の鑑賞構造に関する研究〔II-2〕」 同上 PP. 51~72 1973 b
- 4 金城光子 「舞踊の鑑賞構造に関する研究〔III〕」 同上 第18集第2部 PP. 41~60 1975
- 5 金城光子 「舞踊の鑑賞構造に関する研究〔IV〕」 同上 第20集第2部 PP. 7~28 1976
- 6 金城光子 「舞踊の鑑賞構造に関する研究V」 同上 第24集第2部 PP. 65~75 1980
- 7 金城光子・大城昭子 「舞踊の鑑賞構造に関する研究I」 『琉球大学教育学部紀要』 第16集 PP. 57~79 1972 a
- 8 金城光子, 大城昭子 「舞踊の鑑賞構造に関する研究II」 同上 PP. 41~56 1972 b
- 9 三宅一郎・中野嘉弘・水野欽司・山本嘉一郎 『SPSS 統計パッケージII 解析編』 東洋経済新報社 1977
- 10 芝 祐順 『因子分析法』 東京大学出版会 1972

附表1

舞踊作品について

作品番号	題名	国名	演舞形式	時間	踊り(内容)の概要
1	黒髪	日本	独舞	8分	愛しい人への思慕の情を切々と訴える上方舞で、人恋うる女の淋しさ、わびしさを叙情的に綴ったもの。“一人寝る夜のあだ枕” “無知な女のこころを知らで、しんとふけたる鐘の声” “ゆうべの夢の今朝さめて、ゆかしなつかしやるせなや” などの内容は、作品17の琉球舞踊の「諸屯」と共通している。数少ない振りの中にゆっくり情感を展開する。“一人寝のあだ枕” “しんとふけた夜の情景” など両者共、女心の熱き思いを表現する素材としてうたい踊られている点は興味深い。
2	葵の上	日本	独舞	18分	女性のげげしい愛憎を描いた上方舞で、静的で内攻的な舞を展開するが、“つもの思い” “燃える思い” “激情” が“なげき” “うらみ” に“変化” して、“もつれもつれなおにくや” “かり寝の夢の袖にちりちりつゆ涙” “あだ枕” “うらみ” “むくい” “思い知らずや” “うらめしのこころ” “さめてはかなし” などと綴る。燃える情念が女の性、業をにやして鬼女に化身させるほどに憎しみ、うらみへと変化させる。重厚さの中に女の芯の強さを表現したものの。
3	菊	日本	独舞	23分	香ぐわしい菊の花を素材に娘~乙女~女の成長過程をかわいらしく緻しゅくに描いた長唄。かれんな娘、ういういしい乙女、文金島田のあでやかな女、えんじゅくした女のかぐわしさという四部構成である。舞台いっぱいにあざやかな菊の花を背景に装置し、テンポの速い、変化に富んだ振りと構成で華やかに展開する。1, 2, の「黒髪」「葵の上」とは対照的な踊りである。ひとり4役という化身と踊りの展開は、あざやかなものである。
4	春の舞	タイ	独舞	10分	指に長い爪をつけて手首をこねまわし、指をそらして軽快な音楽に乗って、膝を曲げて細やかな足どりで移動して踊る古典舞踊でタイ



作品番号	題名	国名	演舞形式	時間	踊り(内容)の概要
	(写真4)				独特な踊り。膝を立てて両手を左右に曲げあげてゆっくりまわる。足をうしろにあげてポーズ。上体を曲げてブリッジするアクロバットのポーズ、手首をまわし、指を左右にそらして、前後に振りながら膝曲げ歩くなど独特な指使いと屈曲性の動き、繊細な体と首と手、小走りなど、のどかな春の情景を表現したもの。琉球舞踊のこねり手やすり足歩き、身振りなどフィーリングが類似しているが、タイの方が非常に細やかで優雅でそれでいて軽快さが存分に表現されている。(上下)左右の身振りの流麗さが気品を形づくっている。
5	鳥の精の物語  (写真5)	タイ	群舞	30分	バレエの「白鳥の湖」を思わせるような舞踊劇・古典舞踊である。鳥の群が優雅に舞い踊っている。鳥羽衣をぬいで遊んでいる所へ狩人がきて1羽の鳥をつかまえる。王子を乗せた車がやってきて鳥の精は差し込まれる王子との恋を語り、王女の地位につく鳥の精、宮廷での祝宴、狩へいく家来たちの旗、弓矢、槍、刃、なぎなたの踊りがある。そこへ1羽の鳥の精が舞い出て彼女をかえしてくれと嘆願するが、むなしく、帰る。鳥の精はきさきとなって幸せに暮らすというドラマである。 タイ古典舞踊のきらびやかな衣装と、優雅な女踊り、勇壮な男踊りなどファンタジックな物語の展開である。沖縄の羽衣伝説にやや類似した趣きがあるようだ。
6	鼓 舞  (写真6)	インド	二人舞	6分	白いターバンを頭に巻き、白の7分ズボン、左肩から白い布をかけ、横に長い鼓を首からさげて、両手で打ち鳴らしながらリズムカルに踊る男舞である。 左右移動、膝の屈げのぼし、静かに、こまかい足どりまわる。だんだん速く、はげしく打ちながら首を左右に大きく振り、足をあげて上体でゆさぶりながら移動、回転跳躍をくり返ししながら両手で太鼓を支えもち、はげしく回転移動する。ゆっくり左右にゆれながら次第にテンポを落とし、再びはげしい回転跳躍と首の左右ふりとをくり返し終る構成である。 柔軟で軽快な中に、流麗さと激動による Dynamic さを表現している。沖縄の太鼓ばやしやエイサーの太鼓(パーランクー)の踊りとの違いがある。
7	祭りの踊り	インド	群舞	9分	男女が両手をつないで、横歩きしながら軽快に登場してくるにぎやかな踊りである。上手から下手へまわりこみながら、円陣となり、円のまま、ジャンプ、ステップをくり返ししながら旋回する。単調な振り、動きのくり返しが延々と続く、かん高い女の歌声と太鼓のリズムが、祭りのにぎやかな雰囲気や一段と盛り上げている。列になり、左右移動、回転、ジャンプ、両手をこねまわしながら左右へバランスステップ、男女が互いにまわり合う。ゆっくり手をこねまわす。足の絶え間ない床のふみならしとばねは、沖縄のカチャーシーを踊り合う男女の群を思わせるものがある。興味深いのは、最後の場面で、歌がだんだん早くなり、男女が、下手前と上手後に分かれて斜めに並び、互いに綱引きの情景を展開しながら退場するところである。 “ホーハヨハイハー、ホーハヨハイ” “ホーハヨハイハー・ホーハ

作品番号	題名	国名	演舞形式	時間	踊り(内容)の概要
	(写真7)				ヨハイ”と力強い声援と共に綱を引き合いながら次第に上手後に退場する場面は、沖縄の祭り行事の綱引“ハーイヤ、ハーイヤ”と非常に共通したものがある。
8	鳩間節 (写真8)	日本 (沖縄)	独舞	3分	沖縄の近代舞踊のひとつで、テンポの速い、軽快な男踊りである。こぶしを握って足拍子を打つ、片足をあげて両手を開いてあげる。見下ろす、眺める、かいぐり両手首を交差してまわしてあげる、手拍子をうつ、手首を前後、左右に屈げ、首を左右に振るなど、鳩間島の森の上から港の舟のいきかきを見下ろすなどの情景を描写したもの、独特なハヤシことばとリズムは、はなやいだ、楽しいふんいきをつくる。日本舞踊のカップレに影響をうけて創作されたとされるように、カップレの中の振り、かいぐりの手、片足あげまわりなどがとり入れられているが、日本舞踊よりもリズムカルで洗練された独自性の強い演舞形式をつくっている。
9	蝶の舞 (写真9)	韓国	二人舞	7分	韓国のいわゆるアクロバットの動きによる力動感あふれる演技は、この蝶の表現にもとりいれており、軽技的な技を駆使しつつ、蝶が一匹登場する。その背中には、大きな身長大の羽をつけ、両手で支え、左右から閉閑しながら床をぐるぐるまわったり、ギムナクティック的ウルトラ級の技を展開するのが見せ場である。そこへ、刃を振りながら女性が軽やかに登場、蝶との戦いを展開する。最後に、蝶は胸をさされとらえられるという。人間と生物との対応を描いた単純な踊り構成である。
10	布の舞 (写真10)	韓国	独舞	5分	中国、韓国と共通した6m余の長い布を振りながら優雅に踊る内容のものである。布を上下、左右に振りながら流れの中でいろいろなポーズをしなやかに展開する。両手にもった白、ピンク、みどりなどの淡い色彩の布が空中に波打つ様はみせどころであり、その流れは春の情景や女らしさの表現にマッチしている。
11	扇の舞 (写真11)	韓国	独舞	5分	両手に白い鳥の羽でできた大きな扇をもち、しなやかな身体の動きと共に上下左右に振りあげる。また、とじたり、開いたり、身体に巻きつけたり、顔をおうような、恥じらいなどを表現している。日本や沖縄・他の南国諸島の扇使いと異なり華やかでユニークである。特に集団の演技などに使用される扇の演舞は、韓国独特なローカル性を華やかにかもしだしている。この白い扇の舞も、独舞ではあるが、個性的な踊りである。
12	戦鬨の舞	韓国	群舞	15分	孫悟空、西遊記として紹介された物語の一種で、舞踊劇又は物語舞踊としての楽しさの中にDynamicな戦い場面を主とした展開にまとめられているものである。 4人の赤毛の男たちが登場、アクロバットの動作ではげしく踊る。沖縄の民俗芸能の一つである「南ヌ島」に類似している。そこへ、指揮官が登場し跳躍・旋回、回転、宙返りなどダイナミックな動きを展開して退場する。孫悟空なる一匹が速い跳躍と回転を連続しながら登場、次いで、唐僧玄奘が猪八戒(ブタ)沙悟浄を配して登場。女性、老いぼれ、赤毛の兵士たちとの激しい戦鬨を展開して勝利を

作品番号	題名	国名	演舞形式	時間	踊り(内容)の概要
	(写真12)				得帰途につくという劇的な構成であるが、戦闘場面の動きの展開を見せ場としている。
13	高平良万歳  (写真13)	日本 (沖縄)	独舞	9分	親のあだ討ちをするために、兄弟が万歳姿に身をやつして出かける道行と敵前で獅子舞を披露しながら、相手のスキをみて見事に目的を果すという、沖縄の古典芸能・組踊の劇中の踊りの部分を独立して一連の男踊りとして構成したものである。黒衣装に編笠をかぶり、杖をもち、獅子頭(馬頭)をもつ。 「道行口説」「万歳こうし節」「うふんしゃり節」「せんする節」の4曲を組曲としてまとめている。男踊りとしての勇壮な技の展開と共に、だんだん高まっていく音楽の調子が、緊迫感の中に力強さを示しドラマの展開が楽しめる独特な踊りである。
14	かぎやで風  (写真14)	日本 (沖縄)	独舞	4分	琉球古典音楽の御前風という序奏曲の五曲の中の一つで、「かぎやで風」又は「御前風」と呼ばれ、老人踊りの一種であるが、現在、男踊りとして親雲(パーチン)姿や若い男装でも踊られている。この踊りの発想は、老人、老女のデュエットによるもので、「長者の大主」という大勢の子孫をひきいて、繁栄と幸福をことほぐ芸能であるとされている。「今日のこの目出たいうれしい感情を何にたとえようぞ。花のつばみが露をうけてみずみずしく、すがすがしく開花しようとする新鮮で清澄な気持ちである」という祝賀の扇舞である。老人老女の踊りは、日本舞踊の「たかさご」と共通的な雰囲気を持つものとして例にあげられる。
15	貫花踊  (写真15)	日本 (沖縄)	独舞	5分	貫花という紅白の花を糸に貫いて作った、ハワイのレイのようなものを肩にかけて、四つ竹を打ち鳴らしながら軽快に踊る女踊り。近代舞踊の一つで、二部構成である。「さあ、皆んなで連れ立って野原に花をつみに行きましょ。」「花は露をうけてみずみずしく咲いているので手折るのはおしいわ。」「水面に浮いている花をすくって糸に貫き彼の肩にかけてあげましょ。赤い花は熱い思いをたくして彼にあげましょ。」という前半の踊り。後半は、「四つ竹を打ちならし、今日このお座敷で、みんな楽しく踊ることは何と楽しいことよ、打ち鳴らす四つ竹の音は何と美しいことよ」とにぎやかに盛りあげて退場する踊り。女らしさや、自然を愛し、人を愛するやさしさを表現する軽快な踊りである。四つ竹・スティックを打ち鳴らして拍子をとる踊りは、フィリピンにもあり、カスタネットを打ち鳴らしてはげしく床をふむスペイン舞踊とも共通するが、感情の高まりを音にたくすスパニッシュと違い、貫花踊りは単調な拍子打ちをしながら踊るところに独自性がある。
16	松竹梅	日本 (沖縄)	群舞	20分	琉球音楽の七つ組みなどと言われる舞踊組曲のひとつであり、目出たい縁起ものの踊りである。松のみどり、竹の素直な節、梅の香、鶴は千年、亀は万年、といつまでも若々しく、青々と香ぐわしく、長寿をことほぐという祝儀舞踊として、ちょうほうがられている。松竹梅、鶴亀と個別に踊って、最後は、総踊りとして、五人が両手に扇をもって、力強く軽快に踊るもの。日本舞踊の中にも、内容的に類似したものがあるが、各々が冠をかぶり、いわゆる松の役、竹

作品番号	題名	国名	演舞形式	時間	踊り（内容）の概要
	(写真16)				・梅・鶴・亀の役と衣装とかぶりもので演出している点で、他の踊りにない特性を持っている。
17	諸 屯	日本 (沖縄)	独舞	15分	作品1, の「黒髪」でも触れたように、女心のわび、淋しさ、はかなさを語り綴った沖縄の古典女踊りを代表するものである。 “心に思いがあってもだれに語られようか” “会いたい気持ちはつのるばかりです” “夜もふけて 夢からさめ、はっとして雨戸を開けると、西に傾いた月光がさしこんできた。“ああ、あの月が、この胸のうちを、知ってくれるであらうか”、“枕ならべたる 夢のつれなさよ 月は西さがて 冬の夜半”、「黒髪」が夜ふけのカネの声や雪によって、わびしさを表現するのに対し、「諸屯」は冬の月の寒々とした情景によって、わびしさを強調している。「黒髪」は扇を持った柔踊りで、静かに舞う。「諸屯」は、琉球紅型をうちかけて、単々と踊る手踊りである。
	(写真17)				

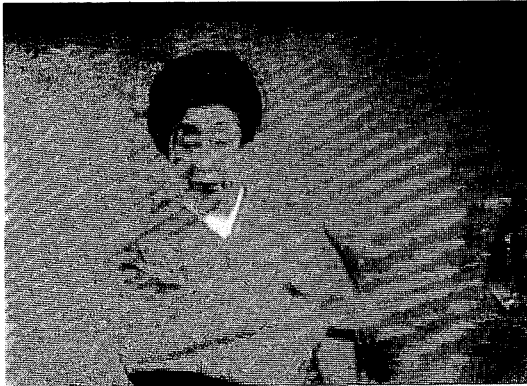


写真1 日本舞踊  
黒髪・武原はん



写真2 日本舞踊  
葵の上・武原はん



写真3 日本舞踊  
菊・吾妻徳穂



写真4 タイ舞踊  
春の舞・タイ舞踊団



写真5 タイ舞踊  
鳥の精の物語・タイ舞踊団

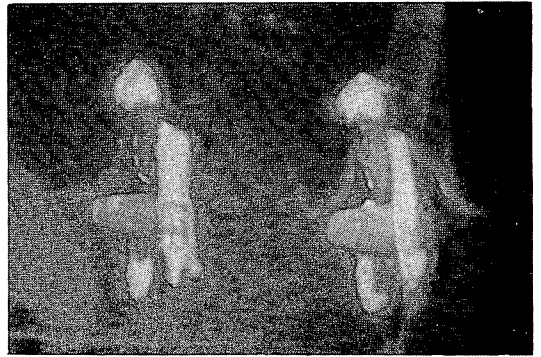


写真6 インド舞踊  
鼓舞・Manipur 舞踊学院

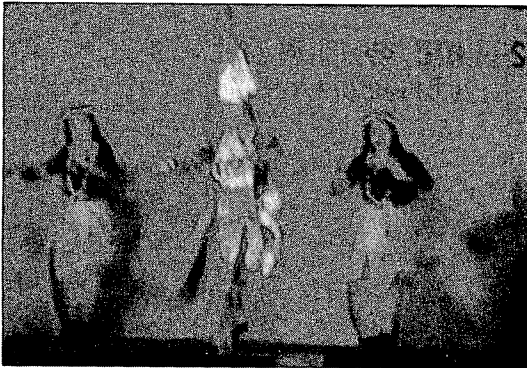


写真7 インド舞踊  
祭りの踊・Manipur 舞踊学院



写真8 琉球舞踊  
鳩間節・赤嶺正一



写真9 韓国舞踊  
蝶の舞・韓国国立舞踊団

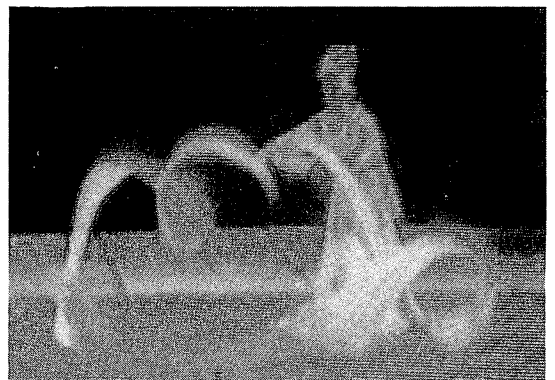


写真10 韓国舞踊  
布の舞・韓国国立舞踊団

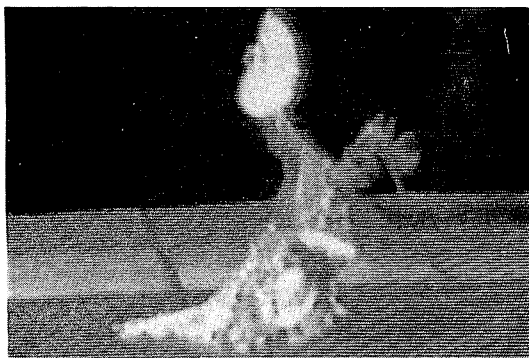


写真11 韓国舞踊  
扇の舞・韓国国立舞踊団



写真12 韓国舞踊  
戦闘の舞・韓国国立舞踊団



写真13 琉球舞踊  
高平良万歳・古謝弘子



写真14 琉球舞踊  
かぎやで風・金城光子



写真15 琉球舞踊  
貫花踊・金城光子



写真16 琉球舞踊  
松竹梅・具志堅いく子他



写真17 琉球舞踊  
諸屯・玉城節子

附表2

舞踊印象評定用紙

作品番号 \_\_\_\_\_

学生番号 \_\_\_\_\_

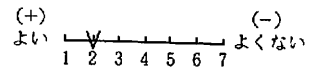
氏名 \_\_\_\_\_

男女 \_\_\_\_\_

今、見た舞踊の感じや印象を下記の尺度で評定しなさい。  
 なお、尺度の数字は、およそ次のような程度を表わします。

- 1と7……………非常に（または極めて～である）
- 2と6……………相当に（～である）
- 3と5……………いくらか（～である）
- 4……………中性（いずれとも言えない）

〔記入例〕



- |          |       |         |           |       |         |
|----------|-------|---------|-----------|-------|---------|
| 1 よい     | _____ | よくない    | 16 美しい    | _____ | 美しくない   |
| 2 魅力がある  | _____ | 魅力がない   | 17 効果的な   | _____ | 効果的でない  |
| 3 うまい    | _____ | うまくない   | 18 鮮やかな   | _____ | 鮮やかでない  |
| 4 見応えがある | _____ | 見応えがない  | 19 印象深い   | _____ | 印象がうすい  |
| 5 すぐれている | _____ | すぐれていない | 20 おもしろい  | _____ | おもしろくない |
| 6 現代的な   | _____ | 古典的な    | 21 はげしい   | _____ | はげしくない  |
| 7 動的な    | _____ | 静的な     | 22 新しい    | _____ | 新しくない   |
| 8 日本的な   | _____ | 日本のでない  | 23 正統的な   | _____ | 正統的でない  |
| 9 叙情的な   | _____ | 叙情的でない  | 24 力強い    | _____ | 弱々しい    |
| 10 素直な   | _____ | 素直でない   | 25 劇的な    | _____ | 劇的でない   |
| 11 さわやかな | _____ | さわやかでない | 26 すっきりした | _____ | すっきりしない |
| 12 明るい   | _____ | 明るくない   | 27 まとまった  | _____ | まとまりがない |
| 13 満足できる | _____ | 満足できない  | 28 はなやかな  | _____ | はなやかでない |
| 14 緻密な   | _____ | 緻密でない   | 29 視覚的な   | _____ | 視覚的でない  |
| 15 興味深い  | _____ | 興味がない   | 30 明確な    | _____ | 明確でない   |